



子どもたちの
意欲を育てる

市立小・中学校における 教育研究の取り組み



市立小・中学校では、子どもたちの学びに向かう意欲や望ましい学習・生活習慣を育てるため、各校の教員が日々指導方法の工夫や改善に取り組んでいます。今回はその中で、令和6年度に各校で行った研究の取り組みを紹介します。

⇒指導課 ☎ 29-9819

教育研究協力校

三鷹中央学園(第四中・第三小・第七小)

児童・生徒の自立した学びを目指して

三鷹中央学園では、令和5・6年度の2年間にわたり、「児童・生徒の自立した学びを目指して～児童・生徒一人ひとりの学びに着目した授業改善～」を研究課題とし、学園一丸となって研究に取り組みました。学園生一人ひとりが生涯学び続けることができる資質・能力を育成するために、それぞれが問いをもって探究的に取り組み、協働しながら学びを深める姿勢を引き出すための授業改善を進めました。

研究発表会当日は、小・中学校で14の研究授業を行うとともに、2年間の研究の取り組みについて発表し、100名以上の教育関係者が参加しました。

今後は、研究の成果を市内小・中学校でも共有し、三鷹市の教育の推進に活かしていきます。



協働して課題に取り組む様子

食育研究指定校

おおさわ学園(第七中・大沢台小・羽沢小)

楽しく・かしこく 食べて元気!

おおさわ学園では、子どもたちが生涯にわたって健やかに生きていくことができるよう、食に関する正しい知識や望ましい食習慣などを身に付けることを目標に食育の推進を図っています。

小学校では、近隣の農園の協力のもと、子どもたちが農作業や農作物に親しむ機会を多く設けてきました。

中学校では、「時間栄養学から学ぶ中学生の健康と食事」をテーマに講演会を実施したことで、朝食を食べることや成長期に必要な栄養をしっかりとることの大切さに気づき、自身の生活習慣を振り返る機会となりました。

今後も、子どもたちが考案した献立を実際に給食として提供するなど、食や食文化に関する理解を深めるための取り組みを進めていきます。



トウモロコシの皮むき体験

教育研究奨励校

連雀学園第四小学校

知的コミュニケーションを活かした 学習指導の工夫

第四小学校では、「知的コミュニケーションを活かした学習指導の工夫」を研究主題に、「特別の教科 道徳」を中心に教育研究を進めてきました。

国や市の学力テストや児童による授業評価アンケートなどの分析を通じて課題を明らかにしたうえで、「問題解決的な学習」「ICT 機器の利活用による個別最適な学びと協働的な学びの一体的実現」「学びに向かう集団づくり」を柱に、子どもたちが道徳的な価値

について理解を深めようとしたり、他者と積極的に対話をしようとしたりするなど、学び続けようとする姿勢を引き出すための授業改善に取り組みしました。

研究の成果は、2月7日(金)の授業公開を通して、保護者や地域の皆様にも発表します。



授業のテーマについて全体で話し合う様子

探究カンファレンスin三鷹の開催について

教育委員会では、これまでの学校教育で行われてきた「能力開発」から、子どもたちの探究心を育てる「興味開発」にも力点を置いた授業づくりを目指し、三鷹市内の(株)探究学舎と協働で教員研修を行っています。

この取り組みの成果として、参加している教員による授業発表を以下の日時で実施します。ぜひお越しください。

日時 2月1日(土) 午前9時～午後1時15分

会場 三鷹中央学園第三小学校

申込 不要(市立小・中学校の児童・生徒は学校から配付されるチラシをご覧ください。)

⇒指導課 ☎ 29-9819

教育委員の就任

令和6年10月16日付けで、さんべいきょうこ三瓶恭子氏が三鷹市教育委員会委員に就任しました。任期は4年間です。

「学校風土」の改善—自分が大切にされていると感じる場へ

10月1日付けで教育長に就任した松永 透です。私は元々中学校の英語科の教員です。三鷹市教育委員会に来て以来16年、コミュニティ・スクールや小・中一貫教育を担当し、地域の皆様や先生方とともに学園の基盤を作り、推進する仕事に取り組んできました。特に、連雀学園第一中学校での校長としての4年間は、「コミュニティ・スクールを基盤とした小・中一貫教育」の仕組みを実践に落とし込みながら、市民総ぐるみで義務教育を支える三鷹市の地域力のすごさを体感させていただきました。

現在の学校教育の課題は非常に複雑な様相を呈しています。学校は子どもたちが「安全・安心で快適な学校生活」を送れるよう、多様性を認め合い、自分が大切にされていると感じる場への転換が求められています。私たち大人は、子どもたちの意見にきちんと耳を傾け、もっと子どもたちを信じ、待ち、失敗が許される風土の中で一人ひとりに寄り添う必要があります。こうした「学校風土の改善」が、一人ひとりを真に大切にする教育の実現には不可欠であり、そうした風土の中で、授業が「面白い、楽しい、わかる」ということや、子どもたちの「好き」や「得意」を伸ばし、興味開発など未来につながる学びに

向けた授業改善と学校づくりを推進していきたいと考えています。

今、教育委員会では市長部局と連携し、学校を核とした地域づくりに取り組んでいます。子どもたちや学校を縁としたつながりである「スクール・コミュニティ」を拡大し、子どもたちの学びや育ちを見守り、支援するネットワークを大きく広げていきたいと思っています。大人にとっても地域とのつながりが広がり、学びや気づきの機会を得ることができます。ぜひ、様々な機会に学校の内外で子どもたちの支援の輪に加わり、三鷹の宝である子どもたちと関わっていただけるよう、市民の皆様のご協力をお願いいたします。

令和6年10月1日付けで、松永透氏が三鷹市教育委員会教育長に就任しました。任期は3年間です。

【略歴】

昭和63年4月より公立学校教諭として勤務。平成21年4月から三鷹市教育委員会事務局教育部指導課統括指導主事、平成25年4月から平成29年3月まで連雀学園第一中学校長を務める。三鷹市教育委員会事務局教育部指導課長、教育部総合政策担当部長、教育部長などを歴任。



教育長
まつなが とおる
松永 透

学園長に聞く！

三鷹市では、7つの中学校区ごとの「学園」で、コミュニティ・スクールを基盤とした小・中一貫教育を行っています。

このコーナーでは、学園長にお聞きした「我が学園」ならではの特色や取り組みについて紹介します。

～学園教育目標～

地域に根差し、たくましく現代に生き、進んで未来を創造し、社会に貢献する心身ともに健康な児童・生徒を育成する。



連雀学園
(第一中、第四小、第六小、南浦小)



ふじわら かずひこ
藤原 和彦
学園長
(第六小学校長)

市内最大規模の学園だからこそ生まれる最高の絆！

連雀学園は、小学校3校と中学校1校からなる市内最大規模の学園です。

子どもたちに学園の一員としての絆が生まれるよう、学園内では様々な交流の機会を設けています。

コロナ禍では交流の機会が途絶えてしまいましたが、だからこそ交流活動の意義を教員間で問い直すきっかけとなり、再開後は今までよりパワーアップした取り組みとなっています。



第一中学校生徒の母校訪問

学園の枠を超え、地域がつながる「笑顔満祭」！

地域の人財が豊富な連雀学園の強みを活かし、令和5年度に初めて「連雀文化祭『笑顔満祭～連雀ジョイナスフェス～』」を開催しました。この素敵な名称は中学生の発案によるものです。



学園生による吹奏楽の演奏

イベント当日は、地域の文化団体やスポーツ団体などの発表や300点を超える作品の展示があり、会場は多くの方々の笑顔に包まれ、まさに「笑顔満祭」でした。

中学生ボランティアが運営に関わることで、子どもたちの「チャレンジする力」「協力する力」を育てると同時に、地域の活動を知るきっかけとなり、学園の枠を超えた地域のつながりや広がり、子どもたちの中で生まれる場となりました。

地域の大人がサポートする子どもたちの夢！

私は日頃から、子どもたちには夢を言葉にするよう伝えています。学園に関わる大人たちがその夢を聞き実現方法を考え、サポートをします。

学園では、子どもたちの声を聞くための様々な機会を設けています。先日、児童・生徒会とコミュニティ・スクール委員会で「学園目標を達成するためにどうすればいいか」をテーマに熟議を行いました。難しいテーマでしたが、子どもたちからは大人たちとは異なる視点での意見が出るなど、その柔軟な発想に感心させられました。

子どもたちの自由な発想を大事にして、大人たちが子どもたちの夢や実現したいことのサポートをする。そして、子どもたちが成長したときには、連雀学園で過ごした経験を活かして、新たな地域の力として活躍することを願っています。



子ども熟議の様子

川上郷自然の村のご案内

川上郷自然の村は、高原野菜の産地として有名な長野県川上村にある校外学習施設です。小・中学校の自然教室で使用しない期間は、保養施設として広く一般の方にご利用いただいています。標高約1,500mの高地に位置し、近隣のスキー場や野辺山・清里エリアの観光スポットへのアクセスも良好です。ご家族・ご友人とのご旅行、スポーツ合宿や研修にぜひご利用ください。

【宿泊料金】

大人3,700円から、小学生2,500円から（1泊2食付き）
宿泊希望日の3日前までに、電話（午前8時30分～午後7時30分）・FAX・川上郷自然の村ホームページでお申し込みください。



宿泊の
問合せ

三鷹市川上郷自然の村
〒384-1406
長野県南佐久郡川上村大字原591番362
☎0267-97-3206 FAX0267-97-3207
HP <http://www.sizennomura.jp/>



JRをご利用の方は、最寄駅（信濃川上駅）まで車で送迎します。宿泊申し込みの際にご予約ください。



三鷹市立図書館

みたか電子書籍サービスに「児童書読み放題パック」が入りました！

令和6年10月から、みたか電子書籍サービスに、図書館で人気の児童書がパックになった「児童書読み放題パック」が加わりました。パックの本は同時アクセス数や貸出冊数に制限がありません。ぜひご利用ください。

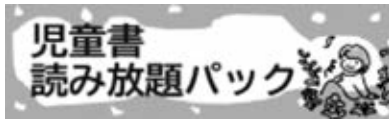
〈利用できる方〉

三鷹市に在住・在勤・在学していて、三鷹市立図書館または井の頭コミュニティ・センター図書室の利用カードを持っている方

〈児童書読み放題パックの内容〉

- 講談社 人気の童話パック 40タイトル
- Gakken 「10分で読める」朝読パック 45タイトル
- 角川つばさ文庫 人気シリーズ朝読パック 50タイトル
- 講談社 YAパック 40タイトル

⇒三鷹図書館（本館） ☎43-9151



みたか電子書籍サービス
トップページ

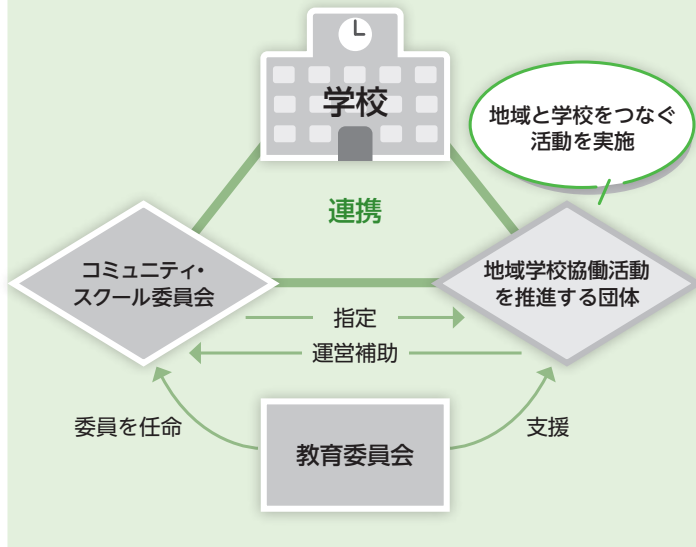
地域学校協働活動を推進する団体がすべての学園で動き出しました

学園単位で設置しているコミュニティ・スクール（CS）委員会では、「子どもたちを通わせたい学校」の実現に向けた協議を行い、また、それを実現するために、学校と地域が協働した様々な活動（地域学校協働活動）が行われています。こうした活動へのCS委員以外の方の参加や主体的な取り組みを推進するために「地域学校協働活動を推進する団体」が順次設立され、このたびすべての学園で設立されました。今後、各団体がそれぞれの地域で、学校や子どもたちに関わる人たちのネットワークが広がっていくよう活動していきます。

⇒教育政策推進室 ☎29-8349

◆地域学校協働活動を推進する団体

連雀学園	連雀ジョイナス
にしみたか学園	あささんネット
三鷹の森学園	三鷹の森学園地域学校協働本部
三鷹中央学園	三鷹中央学園地域学校協働本部
鷹南学園	たかみんネット
東三鷹学園	東三鷹学園地域学校協働本部
おおさわ学園	おおさぼ



紹介したホームページなどは、記事内の二次元コードからもアクセスできます。